

第三者による総括・ご意見

令和8年3月30日

担当者氏名・所属 立原 博之氏 長野市保健福祉部障害福祉課

担当者氏名・所属 寺沢 さゆり氏 長野市議会議員・当法人評議員

- 地域における障害児支援の中核として活動していただいている事に感謝申し上げます。
今年度は、インクルーシブをテーマに、多職種との連携について取り組んでいただきました。
インクルーシブについて社会的に理解が進んでいない状況で、障害福祉サイドから理想と希望を一方向的に訴えているのが現状と感じています。
入り口としての啓蒙・啓発からどのタイミングで実践に移行していくのかが、これからの課題と捉えています。
児童発達支援センターにじいろキッズらいふでは、これまでも保育園や学童保育などの一般施策との連携について、熱心に取り組んでいる事は承知しておりますが、これからも行政と連携して、より一層の取り組みをお願いいたします。(立原 博之氏 長野市保健福祉部障害福祉課)
- 障害のあるこどもにとって良い環境は、全てのこどもや人々にとっても良い環境であり、インクルージョンを推進する貴施設の細やかで幅広い活動に深く感謝申し上げます。「こどもまんなか」で最善の利益を考える時、地域には悩みを抱える支援者も多く、中核機能拠点として『支援者の支援』に一層注力されることを期待しております。また、外部機関や多様な分野の方々との連携をさらに深め、地域を使い繋ぐ役割も担っていただきたいと感じました。長野市としても今後、若者の居場所づくりなど若者支援に力を入れていく方針です。市政と連携を深めながら、誰もが生きやすい地域社会の実現に向けて共に取り組んでいきたいと強く願っております。(寺沢さゆり 長野市議会議員・当法人評議員)

～第三者の皆様へ～

皆様から賜りました貴重なご意見や温かいご評価を真摯に受け止め、心より感謝申し上げます。今年度はインクルーシブをテーマに活動してまいりましたが、啓発から実践への移行や、多様な分野の方々との連携強化が今後の大きな課題であると再認識いたしました。ご期待をお寄せいただいた、中核機能拠点としての「支援者の支援」や行政との連携にも一層注力し、地域全体でこどもたちを支える基盤づくりに尽力してまいります。これからも「こどもまんなか」の視点を大切に、長野市の若者支援等の動向とも歩調を合わせながら、すべてのこどもたちと人々が自分らしく生き生きと暮らせる地域社会の実現に向けて、職員一同邁進してまいります。引き続きのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

児童発達支援センターにじいろキッズらいふ 所長 丸山志野